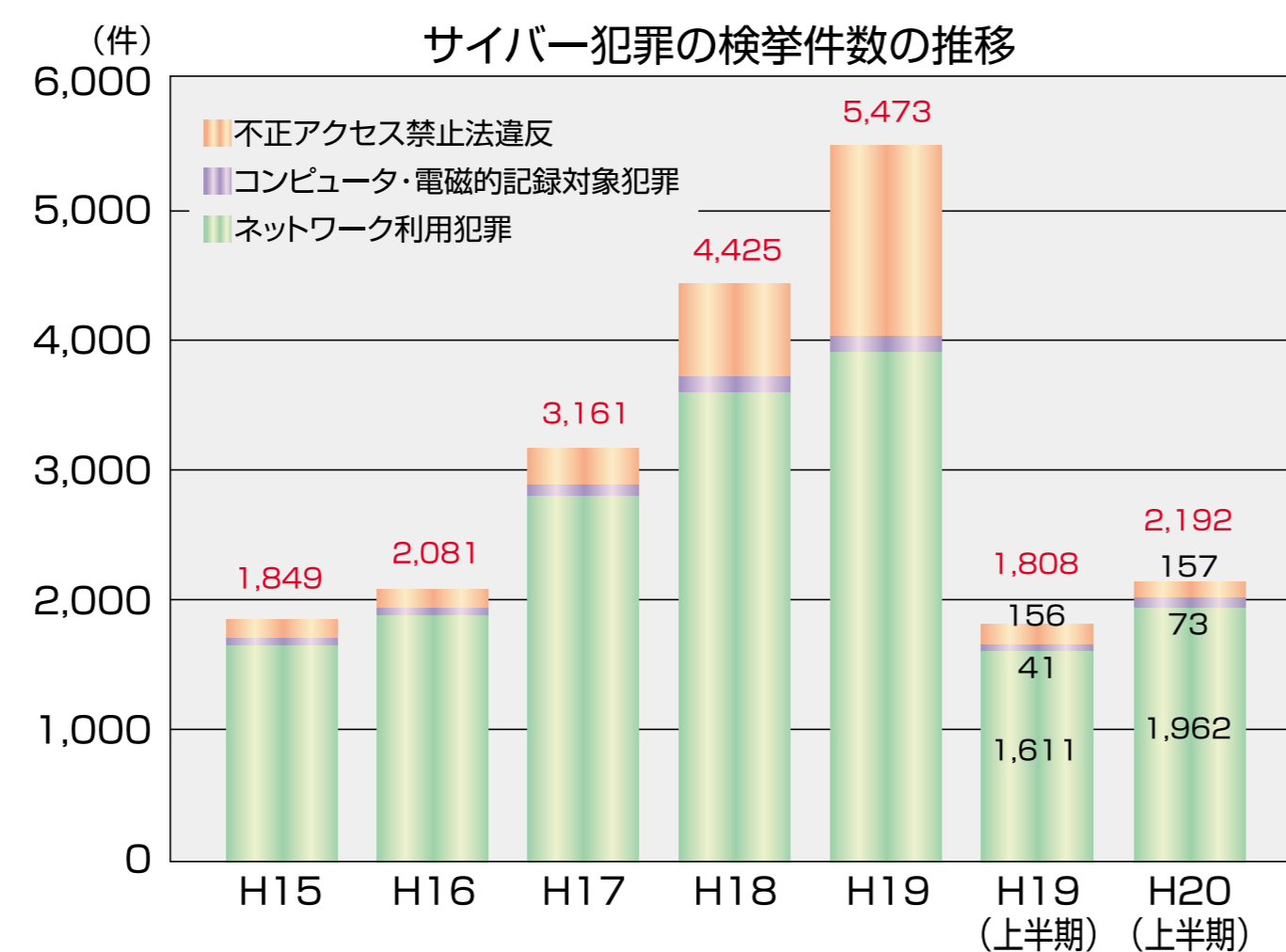


最新のサイバー犯罪情勢

平成20年上半期

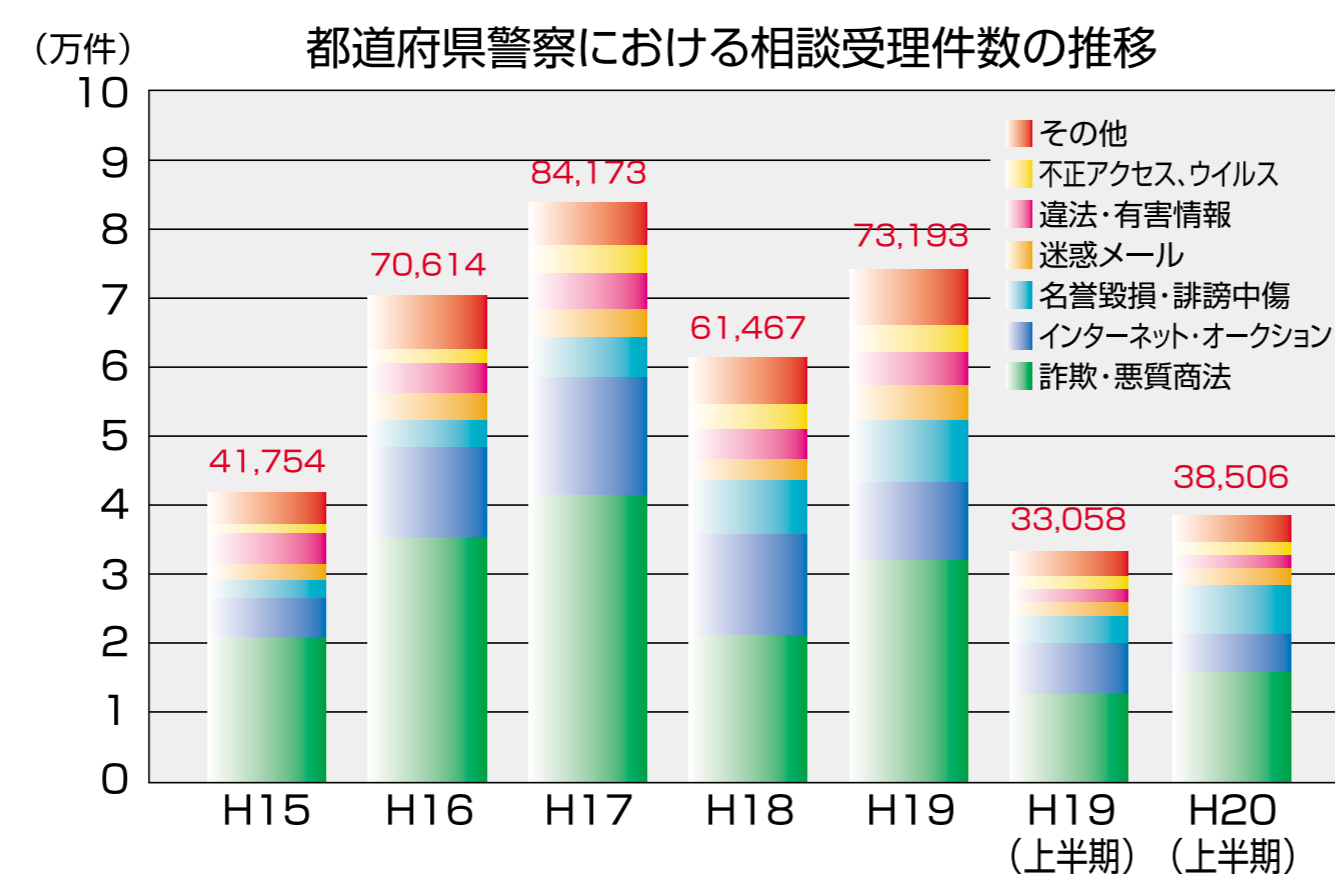
サイバー犯罪の 検挙状況

サイバー犯罪は、「不正アクセス禁止法違反」、「コンピュータ・電磁的記録対象犯罪」、「ネットワーク利用犯罪」の3種類の犯罪に分類されます。平成20年上半期の検挙件数は、合計2,192件で前年同期(1,808件)と比べて21.2%増加しました。



サイバー犯罪等の 相談受理状況

平成20年上半期に各都道府県警察の相談窓口で受理したサイバー犯罪等に関する相談件数は、38,506件で前年同期(33,058件)と比べて16.5%増加しました。



平成20年中の主なサイバー犯罪の検挙事例

不正アクセス禁止法違反

被疑者(無職・男・33歳)らは、インターネット・オークションの入札履歴等に記載されたIDの文字列からパスワードを推測し、これによって特定できた他人のIDとパスワードを使用してインターネット・オークション会社のコンピュータに不正アクセスした。また、インターネット・オークションに内容虚偽の出品情報を掲載して落札者から代金をだまし取った。
詐欺・組織的犯罪処罰法違反でも検挙。
(1月・大阪、山形、栃木、静岡、和歌山、広島)

不正アクセス禁止法違反

被疑者(アルバイト店員・男・25歳)は、勤務先のインターネットカフェのパソコンに入力内容を記録するソフト(キーロガー)をインストールして、入手した客のID等を使用してインターネットバンキングに不正アクセスし、他人の口座から振り替える方法で電子マネーを電子マネーカードにチャージするなどした。
電磁的記録不正作出・同供用、電子計算機使用詐欺でも検挙。
(3月・千葉)

電子計算機損壊等業務妨害

被疑者(会社経営者・男・28歳)らは、自ら運営する出会い系サイトの広告宣伝を行うため、公的機関のコンピュータに対してセキュリティホールを攻撃する方法によって不正アクセスし、同機関のホームページを出会い系サイトへ誘導するよう書き換え、同機関の業務を妨害した。
不正アクセス禁止法違反でも検挙。
(2月・滋賀)

著作権法違反

被疑者(大学院生・男・24歳)は、パソコンに保存されたデータを破壊・転送するなどの機能を有するコンピュータウイルスを作成し、これにアニメの静止画像情報を添付した上でファイル共有ソフト「Winny」を作動させ、不特定多数のインターネット利用者に同静止画像情報を自動的に送信し得るようにした。また、人の名誉を毀損する情報をコンピュータウイルスに添付して送信した。
名誉毀損でも検挙。
(1月・京都)

Against Cybercrime 2009

サイバー犯罪の
〈傾向と対策〉

心と体を守ろう

違法情報と有害情報から 子どもを守りましょう

薬物、自殺、アダルトなどへのバリアーを

インターネット上には違法な薬物販売の広告、危険な自殺の呼び掛け、アダルト画像など、青少年に悪影響を及ぼす情報が氾濫しています。成長過程の子どもたちが、このような違法情報、有害情報に触れることは、決して好ましいことではありません。保護者の皆さんは子どものインターネット利用状況をできるだけ把握し、子どもが安全で有益なネットライフを送れるよう指導してください。

対策

■ パソコン・インターネットを安全に利用するための約束

子どもと話し合ってパソコン・インターネットの利用ルールを決めてください。

■ フィルタリング 子供のための有効なバリアー(防壁)

フィルタリングとは、ウェブサイト上の違法情報、有害情報へのアクセスを制御するために、受信者側でこれらの情報を受信するかどうかを選択できる機能です。ソフトウェアまたはサービスとして利用できます。

● パソコンの場合 ●

市販ソフトのほか、プロバイダや(財)インターネット協会が提供しています。

● 携帯電話の場合 ●

携帯電話会社がフィルタリングサービスを無償で提供しています。

インターネット・ ホットラインセンター

インターネット上の違法情報、有害情報について一般国民からの通報を受け付けています。通報された情報を分析し、違法情報の場合は、警察へ通報するとともに、プロバイダ、サイト管理者等に対して削除を依頼します。有害情報については、プロバイダ、サイト管理者等に対して契約約款に基づく対応を依頼します。

<http://www.internethotline.jp/>
(PCから) 携帯電話はこちらから→



※ 取扱う違法情報、有害情報の範囲について、上記サイトに掲載しているホットライン運用ガイドラインをご覧ください。
※ 自殺予告など緊急に対応が必要な情報は、警察に110番通報して下さい。